

猛 谷伊央里さんキックボクシング全国大会出場 王者との戦い生かしさらなる成長へ

赤村のキックボクシングジム「ASSASSIN」に所属する谷伊央里さん(金田中1年)が、2月15日にうきは市で行われた「All Japan Jr.Kick『藤原敏男杯』九州代表決定戦」の45歳級で見

事優勝し、全国へと駒を進めました。3月15日に埼玉県で行われた全国大会では優勝を逃したものの、奮戦しベスト4を獲得。谷さんは「全国の厚い壁を感じました。次回はもっと自分を高めて上位を狙いたいです」と熱意を燃やしていました。



← 1年前からキックボクシングを始め、週6日ジムに通い猛練習に励んでいる谷さん。

↓「自分たちの活動が評価されてうれしい」と栄えある受賞に目を細める児童たち。



地域一丸のエコ活動が高評価 第15回環境美化教育優良校等表彰

ペットボトルキャップの回収活動に取り組んでいる市場小学校へ、食品容器環境美化協会から2月24日に環境美化教育表彰の優良賞が贈られました。世界の子どもたちにワクチンを届けようと同校の児童会が中心となって地域へ協力を呼びかけ、学校・保護者・地域が一丸となって取り組む回収活動が高く評価され、今回、市場小が県内で唯一の栄誉に輝きました。

共 町内3中学校で卒業式 に学び共に育った仲間との最後の授業

長いようで短かった9年間の義務教育を修了した203人の卒業式が、3月12日に町内3中学校で行われました。保護者や在校生から温かい拍手で迎えられ、校長先生から一人ひとりに卒業証書が手渡された卒業生たち。たくさんの祝福の言葉を背に、思い出深い学び舎と恩師たちに涙の別れを告げながら、それぞれの進路に向けて新たな一歩を踏み出していました。



↑ 3年間の思い出、恩師や保護者への感謝を込めた答辞を述べる卒業生(赤池中)。

↓ 新しく組み立てた橋を長持ちさせるために、仕上げの防腐剤を丁寧に塗る会員。



虎 虎尾桜ルート丸太橋を改築 尾桜と登山者をつなぐ手作りの架け橋

2月28日に「虎尾桜を心配する世話人会」による虎尾桜の周辺整備が行われました。会員たちは同行した樹木医から虎尾桜の健康状態や治療の説明を受けたあと、経路途中の小川にかかる丸太橋を10人で改築。5年以上経過し老朽化した古い橋を解体し、登山者たちが快適に虎尾桜の花見に訪れるようにと願いを込めながら、持ち寄った木材や工具を使い新しい橋を築きました。

↓ 今は5cmほどの稚魚が成長する姿を期待し、川の保全を誓いながら笑顔で見送った児童たち(伊方小)。



4 サケの稚魚を放流 年後の再会の日を想って

川の環境保全意識を高めることが目的の「さけの稚魚の放流」が、今年も町内を流れる彦山川で行われました。市場小前の河川敷では、3月7日に赤池中1年生や保護者、ひこさんがわ夢の会会員ら約130人がさけの稚魚約1千匹を放流。また、方城伊方大橋の高架下では、3月17日に方城中の生徒会や伊方小4年生、町のボランティアグループら約80人が約3千匹を放流しました。参加した生徒たちは「元気に育ってね」「福智町でまた会おうね」と優しく声をかけながら、稚魚の入ったバケツを水面に傾けていました。

す 方城すいとんが田川市立小学校の給食メニューに いとん味わい命の大切さを学ぶ

3月11日、田川市立9小学校の給食に福智のご当地グルメ「方城すいとん」が登場しました。4年前の東日本大震災を学びながら、炭鉱事故をルーツに持つ方城すいとんを食べることで、助け合いや命の大切さを学ぶことが目的。弓削田小では「福智すいとん隊」の隊員で、震災復興支援に携わった町職員が被災地での体験を話し、児童32人へ命の尊さについて訴えました。



↑ 「いただきます」。講師を務めた町職員らと「方城すいとん」を味わう児童たち。

↓ 12m先にある的に鋭い視線を向けながら、真剣な表情で円盤を投げる参加者。



円 第9回福智町カローリング大会決勝 盤滑らし一投一投に一喜一憂

町の恒例行事「カローリング大会」の決勝が3月2日に金田体育館で開かれ、予選を勝ち抜いた36チームが参加しました。決勝に進んだ精鋭たちは、磨きあげた技術や戦術で駆け引きしながら、軽快な音で床を滑る円盤の行く末に一喜一憂していました。結果は次の通り。優勝:太陽メダカA(金田)、2位:四ツ葉会(赤池)、3位:3区B(赤池)、4位:上金田執行部(金田)